

平成25年4月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,315,558</b>	<b>188,269</b>	<b>188,269</b>	<b>8.1%</b>	<b>2,127,289</b>		
1. 営業収益	2,250,818	183,499	183,499	8.2%	2,067,319		
1. 給水収益	2,248,200	182,697	182,697	8.1%	2,065,503		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	2,618	803	803	30.7%	1,815		
2. 営業外収益	51,120	2,530	2,530	4.9%	48,590		
3. 特別利益	13,620	2,240	2,240	—	11,380		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,192,218</b>	<b>31,866</b>	<b>31,866</b>	<b>1.5%</b>	<b>2,160,352</b>	<b>307,694</b>	<b>14.0%</b>
1. 営業費用	1,823,390	31,621	31,621	1.7%	1,791,769	288,716	15.8%
1. 原水及び浄水費	357,599	13,254	13,254	3.7%	344,345	134,190	37.5%
2. 配水費	217,638	6,702	6,702	3.1%	210,936	24,494	11.3%
3. 給水費	80,109	1,165	1,165	1.5%	78,944	16,377	20.4%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	117,997	1,292	1,292	1.1%	116,705	95,478	80.9%
6. 総係費	138,614	9,208	9,208	6.6%	129,406	18,177	13.1%
8. 減価償却費	888,068	0	0	0.0%	888,068	0	0.0%
9. 資産減耗費	23,365	0	0	0.0%	23,365	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	323,255	0	0	0.0%	323,255	0	0.0%
3. 特別損失	25,573	245	245	1.0%	25,328	18,977	74.2%
4. 予備費	20,000	0	0	0.0%	20,000	0	
<b>10. 資本的収入</b>	<b>1,092,355</b>	<b>403,158</b>	<b>403,158</b>	<b>36.9%</b>	<b>689,197</b>		
1. 企業債	469,000	0	0	0.0%	469,000		
2. 負担金・補償金	405,219	380,303	380,303	93.9%	24,916		
3. 補助金	89,078		0		89,078		
4. 出資金	122,076	21,007	21,007	17.2%	101,069		
5. 加入金	6,982	1,848	1,848	26.5%	5,134		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
<b>11. 資本的支出</b>	<b>2,401,794</b>	<b>2,500</b>	<b>2,500</b>	<b>0.1%</b>	<b>2,399,294</b>	<b>567,787</b>	<b>23.6%</b>
1. 建設改良費	1,805,956	2,500	2,500	0.1%	1,803,456	567,787	31.4%
1. 取水施設整備費	68,340	0	0	0.0%	68,340	1,712	2.5%
2. 浄水施設整備費	164,325	0	0	0.0%	164,325	0	0.0%
3. 配給水施設整備費	1,270,303	2,500	2,500	0.2%	1,267,803	315,010	24.8%
6. 管理施設整備費	3,150	0	0	0.0%	3,150	0	0.0%
7. 消防設備整備費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
8. 災害復旧費	299,838	0	0	0.0%	299,838	251,066	83.7%
2. 企業債償還金	595,838	0	0	0.0%	595,838	0	0.0%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>40,186</b>	<b>115</b>	<b>115</b>	<b>0.3%</b>	<b>40,071</b>	<b>27,910</b>	<b>69.5%</b>
①有収水量	8,313,700	664,419	664,419	8.0%	7,649,281		
②供給単価	270.42	274.97	274.97	101.7%	△ 4.55		
③給水原価	258.21	47.59	47.59	18.4%	210.62		
<b>人件費</b>	<b>263,795</b>	<b>16,781</b>	<b>16,781</b>	<b>6.4%</b>	<b>247,014</b>		
1. 収益的収支	226,583	14,285	14,285	6.3%	212,298		
1. 職員給与費	226,583	14,285	14,285	6.3%	212,298		
2. 特別職			0		0		
2. 資本的収支	37,212	2,496	2,496	6.7%	34,716		
* 職員給与費	263,795	16,781	16,781	6.4%	247,014		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	10.1%	7.8%	7.8%				
2. 全職員	11.7%	9.2%	9.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>38,515,396</b>	<b>38,517,896</b>	<b>2,499</b>	
*減価償却累計額	15,399,585	15,399,585	0	
<b>B. 流動資産</b>	<b>2,400,403</b>	<b>2,730,353</b>	<b>329,950</b>	
1. 現金預金	1,635,302	1,771,595	136,293	
2. 未収金	536,132	643,840	107,708	
3. その他	228,970	314,919	85,949	貯蔵品・前払い金等
<b>C. 繰延勘定</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>D. 水道事業費用</b>	<b>0</b>	<b>31,337</b>	<b>31,337</b>	
1. 営業費用	0	31,103	31,103	
2. 営業外費用	0	0	0	
3. 特別損失	0	234	234	
<b>1. 借方合計</b>	<b>40,915,800</b>	<b>41,279,585</b>	<b>363,786</b>	=A+B+C+D
<b>E. 固定負債</b>	<b>50,000</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	
<b>F. 流動負債</b>	<b>581,379</b>	<b>513,345</b>	<b>△ 68,035</b>	
2. 未払金	288,689	51,181	△ 237,507	
8. 資本的収入整理勘定	288,629	439,328	150,700	
9. その他流動負債	4,062	22,835	18,773	
①下水道預り金	0	6,527	6,527	
②水道料金預り金	13	126	113	
③その他	4,049	16,183	12,133	
<b>G. 資本金</b>	<b>16,414,497</b>	<b>16,609,220</b>	<b>194,723</b>	
1. 自己資本金	5,222,669	5,417,392	194,723	
2. 借入資本金	11,191,828	11,191,828	0	
<b>H. 剰余金</b>	<b>8,470,338</b>	<b>8,527,986</b>	<b>57,647</b>	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,212,331	57,647	
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	
<b>K. 水道事業収益</b>	<b>0</b>	<b>179,450</b>	<b>179,450</b>	
1. 営業収益	0	174,797	174,797	
2. 営業外収益	0	2,413	2,413	
3. 特別利益	0	2,240	2,240	
<b>2. 貸方合計</b>	<b>40,915,800</b>	<b>41,279,585</b>	<b>363,786</b>	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
<b>a. 供給単価 (円、銭)</b>	261.92	=給水収益÷有収水量		
<b>b. 給水原価 (円、銭)</b>		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	46.82	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション	195.58	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
<b>c. 施設利用率</b>	75.92%	=一日平均配水量÷施設能力		
<b>d. 有収率</b>	79.49%	=有収水量÷配水量		
<b>e. 流動比率</b>	531.88%	=流動資産÷流動負債		
<b>f. 現金預金比率</b>	345.11%	=現金預金÷流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 平成25年 4月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	862,655	862,655	850,180	853,220	12,475	9,435
総配水量	835,851	835,851	823,070	827,249	12,781	8,602
1 有効水量	735,540	735,540	723,430	721,495	12,110	14,045
(1)有収水量	664,419	664,419	670,700	677,429	△6,281	△13,010
(2)無収水量	71,121	71,121	52,730	44,066	18,391	27,055
2 無効水量	100,311	100,311	99,640	105,754	671	△5,443
(1)漏水量	100,103	100,103	98,000	105,348	2,103	△5,245
(2)その他無効水量	208	208	1,640	406	△1,432	△198
3 有収率	79.49	79.49	81.49	81.89	△2	△2

※当月期の最大配水量は、23日(火)に記録した【29,923m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	68,340	1	1,712	0	0	66,628	1
イ 浄水施設整備事業	12	164,325	0	0	0	0	164,325	0
ウ 配給水施設整備事業	88	896,041	3	7,319	0	0	886,222	1
エ 繰越事業	23	674,100	20	592,691	0	0	81,409	88

\*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 4)	(測定戸数: 2)	(測定戸数: 1)
平均	0.53	0.43	0.49	0.56	0.34
最低	0.46	0.25	0.20	0.49	0.22
最高	0.61	0.56	0.58	0.65	0.38

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H25.4.23	<0.6	<0.7	錦織水系浄水場	H25.4.23	<0.6	<0.5
石越浄水場	—	—	—	米谷水系浄水場	H25.4.23	<0.4	<0.7
大萱沢浄水場	H25.4.23	<0.7	<0.7	楼台浄水場	H25.4.23	<0.8	<0.8
米川水系浄水場	H25.4.23	<0.6	<0.7	—	—	—	—

\* 石越浄水場は原水高濁により採水時運転停止中のため未測定

## 特 記 事 項

### 1 平成25年度主要事業について

#### ①保呂羽浄水場取水施設更新詳細設計及び用地取得

本事業は、東日本大震災時において被災した保呂羽浄水場の取水施設について、平成23年度に登米市水道事業施設更新計画策定委員会の提言を受け、取水方式を高揚程の水中ポンプ方式から、汎用のポンプを用いた中間ポンプ場を設置する二段汲み方式に変更するもので、平成24年度に基本設計を行い、今年度は詳細設計及び用地取得を行う予定です。

平成26年度以降の事業は取水施設の土木工事や建築・機械・電気工事及び取水塔耐震化工事と導水管の布設工事を実施し、平成30年度までに事業を完了する運びです。

#### ②登米市水道事業配水ブロック化(迫川西部地区配水池詳細設計策定及び用地取得)

本事業は、東日本大震災時の経験から、非常時におけるライフラインの機能確保と平常時の配水管理(水圧、水量、水質)の向上、また、計画的な配水管整備等を目的として、①配水ブロック②送水フロー③期待される効果④整備概要の4項目について基本計画を策定しました。関連する迫町新田地内の倉崎増圧ポンプ場整備は平成24度に着手し、今年度中の完成を目指します。

25年度としては迫川西部地区の配水池に係る詳細設計と用地取得を進め、平成26年度からは配水池築造工事や配水ブロック化及び管路耐震化事業の具体的な実施計画等について策定し、事業の推進を図ります。

### 2 強風・落雷による水道施設に被害発生

4月8日の強風、26日の落雷により水道施設に多くの被害が発生しましたが以下のとおり関係機関へ迅速な対応を要請し、各戸への断水等の影響を未然に回避しました。

被害状況	発生日	復旧日
大岳配水池に近接する松の木が倒木し、電力ケーブル、NTT専用回線を遮断	4月8日	電力当日 NTTは9日
西針田ポンプ場停止(漏電ブレーカーの作動)	4月26日	当日
大萱沢浄水場及び伊貝ポンプ場の回線異常	4月26日	4月27日
前田沢配水池流量計故障(変換器の故障)	4月26日	当日より仮設対応中



### 3 地震発生状況

(いずれも水道施設への被害はありませんでした。)

2日	03:53	三陸沖	M6.1	登米市震度3	19日	12:06	千島列島	M7.0	登米市震度3
17日	21:03	宮城県沖	M5.8	登米市震度4	—	—	—	—	—

平成 25 年 4 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C 比較
1 調定件数	件	30,189	30,189	29,927	262
2 調定水量	m <sup>3</sup>	660,102	660,102	673,207	△ 13,105
3 調定料金	円	182,693,570	182,693,570	184,095,730	△ 1,402,160
4 口振加入件数	件	25,405	25,405	25,432	△ 27

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D=B-C 比較
5 給水人口	人	83,713	—	84,774	△ 1,061
6 給水件数	件	30,131	—	29,983	148
7 開栓処理件数	件	574	574	535	39
8 閉栓処理件数	件	300	300	199	101
9 給水工事設計審査	件	93	93	84	9
10 給水工事竣工検査	件	91	91	84	7
11 経年メーター交換	件	191	191	117	74
12 メーター口径変更	件	13	13	7	6
13 月末停止件数	件	△ 4	111	123	△ 12

3 料金徴収関係

項 目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	181,479,735 円	0.66 %	182,845,285 円	0.68 %
15 過年度分	19,882,145 円	89.69 %	21,090,687 円	89.26 %
16 全 体(計)	201,361,880 円	—	203,935,972 円	—

4 給水装置工事指定業者(解除1米山・再開1石越・取消2仙台市)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	6	16	12	13	9	8	14	5	101	107	208

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他		
入札件数	17/19	17/19	4/5	4/5	1/1	1/1	7/7	7/7	5/6	5/6	0/0	0/0	
契約締結	一般										0	0	
	指名	10	10	2	2	1	1	2	2	5	5	0	0
	随契	6	6	2	2			4	4			0	0
	合計	16	16	4	4	1	1	6	6	5	5	0	0

※入札中止 当月 0 件:累計 2 件/入札不調 当月 2 件:累計 0 件/入札取消 当月 0 件:累計 0 件/未契約 1 件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	—	—	
中間検査	1	1	
合計	1	1	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
平成 25 年度辞令交付・年度始め式	1 日	辞令交付、年度始め式
第 1 回職員会議	1 日	労働基準法 36 条による時間外勤務の協定について
第 1 回安全衛生委員会	9 日	年間計画
第 1 回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	9 日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第 1 回資金運用委員会	12 日	資金運用について
第 1 回経営分析会議	22 日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命、その他
第 1 回事業調整会議	30 日	部長等連絡調整会議復命、行事・日程調整、その他
指名委員会	-日	第 1 回 4/3、第 2 回 4/10、第 3 回 4/24
入札会	-日	4/11、4/24
緊急メールの発出	-日	漏水 9・地震 1・水質 2・気象・地震 2・ポンプ停止 1、緊急 1 計 16 回

特 記 事 項

1. 4 月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は 182,694 千円で、3 月期に比べて調定件数・調定水量の増により 5,845 千円の増加となりましたが、前年同月比では 1,402 千円の減となっております。

当期の営業費用は 31,621 千円の執行で、前年同期に対し退職者の特別負担金の支払いにより 3,050 千円の増となっております。

②資本的収支

当期の収入は 403,158 千円で、主な収入は現年度分では水道加入金 1,848 千円、繰越分では繰越事業の補償金 379,794 千円、連絡管の繰出金 20,720 千円で、支出は人件費と旅費を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は印刷物とその他消耗品で 115 千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 給水工事指定店を取消し処分

4 月 5 日(金)に給水装置工事指定店処分審査会を開催、無届工事・指定要件違反により仙台市の指定店 1 社を取消し処分に決定し、4 月 9 日付けで指定の取消しを行いました。また、届出義務違反により職権で仙台市の指定店 1 社を 4 月 16 日付けで指定の取消しを行いました。

(2) 給水拠点設置訓練を実施

4 月 19 日(金)に豊里総合支所で災害協定を結んでいる市管工事業協同組合、市水道お客さまセンター、職員、そして水道ブースターの皆さんの参加のもと給水拠点設置訓練を実施しました。各総合支所に配備している給水タンクの組立から給水までの一連の作業訓練を行いました。今後、災害の際に設置される給水拠点で、関係者や職員とともに給水作業のサポーターとして実践活動をします。



(3) 事業所内 4 月期の災害訓練を実施

4 月 26 日(金)水道事業所内 4 月期訓練を行いました。今回は、3 月 26 日に発生した迫町佐沼江合地区の漏水事故について、時系列で事故状況を検証、今後も想定される同様の事故に対して、万全の体制で対応できるようにそれぞれの役割分担等を再確認しました。

